



トミー協働つうしん

発行:南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)
 企画編集:地域づくり支援員富山担当 (FAX 0470-57-3002)
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)
 メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp

第7号

まず、自分たちが楽しむこと
 それを地域の人に伝えていくこと

～富山地域づくり協議会準備委員会で現地調査(フィールドワーク)～



家族で参加した会員もいて、楽しい現地調査になりました。

富山地域づくり協議会準備委員会(前田正昭委員長)では、二部すいせん遊歩道を安全に利用できるように一月十二日、現地調査を行いました。二部すいせん遊歩道は、長年、地元の方に管理されていて、毎年きれいな花を咲かせます。今回、現地調査を行った結果、大きな危険箇所や早急に修理の必要な箇所はなかったのですが、木橋の一部腐蝕や帰りの坂道でのスリップ転倒の可能性があります。今後、準備委員会で出来ることを話し合い、地域や団体と連携して、実行に移していく必要があると感じました。

富山地域づくり協議会(仮称)の
 名称を広く募集
 ※詳しくは、3〜4ページに掲載

切り取り線

富山支所内
 地域づくり協議会準備委員会事務局 あて



「とみやま」らしい
 名称を募集しています
 名付け親大賞めざして
 ぜひ 応募ください!

応募用紙

協議会の名称	
名称の意味 (名称に込めた思い)	

住所 〒299-

南房総市

氏名

性別 男・女 年齢()

電話番号

※応募は、富山支所へ持参、郵送、若しくはファックスでお願いします。

応募方法は裏面です

地域の話

今年も富楽里
 水仙祭りをにぎやかに開催



平久里下囃子保存会(三橋潤会長)による山響鼓による演奏が祭りを盛り上げました。

私の考える地域づくり



久枝在住
 上村とみ江さん

今、巷では不景気な話ばかり流れています。富山地域も活気ある町にしたいとは思っていません。豊富な資源、歴史、伝統文化、環境等を有効活用し、住む人、訪れる人がリピーターとなるような楽しい企画を色々と皆で製作実行していけたら、町も賑わい、経済効果も得られるようになっていくと思います。

小さな力も集まれば大きな力になります。私一人では大きなことはできませんが、自分のできる小さな事を協力してやっていきたいと思っています。



約3キロの海岸線で集めたごみは約820キロにもなり、2時間足らずできれいな浜に戻りました。

市観光協会若井支部(井野宏一支部長)主催の「第一回若井の浜をきれいにしよう」若井海岸清掃が一月二十三日に行なわれ、当日は、地元の旅館・民宿組合・ボランティアの方約250人が参加。JR主催で参加した駅からハイキングを楽しむ人たちも加わって、ペットボトルやビニールなどのごみ集めを行ない、汗を流しました。

「第一回若井の浜をきれいにしよう」に約250人が参加

1月22・23日の両日、道の駅富楽里で恒例の水仙祭りが開催されました。トン汁の無料サービスや地元野菜やお米・炭などが安く売られ、地元の人はもちろん、大勢の観光客で賑わいました。また、夕方5時から6時半まで、竹燈の点灯が行われ、冷たい空気の中に幻想的な光を漂わせていました。

名称募集します！

地域づくり協議会の



地域の方から身近な団体として
親しまれる名称をお待ちしています。

応募資格

◆富山地域に在住している方

募集期間

◆平成23年2月10日(木)
~3月4日(金)(当日消印有効)

応募方法

◆応募用紙に必要事項を記入し、富山支所へ持参、郵送またはFAXで応募ください

選考方法

◆地域づくり協議会準備委員会において
厳正な審査の上決定します
採用者には、賞品を用意しています

応募にあたっての注意事項

◆名称はいくつでも応募できます
2つ以上名称を応募する方は、応募用紙をコピーしてください



賞品

◆名付け親大賞(採用作品)
賞金 3万円
※同じ名称を応募した方が多数の場合
抽選とします

発表

◆協働つうしんなどで発表します

応募・問合せ先

〒299-2292
南房総市久枝257 富山支所内
地域づくり協議会準備委員会事務局
TEL 57-2511 FAX 57-3002

地域づくり協議会は、
富山地域の皆さんが、知恵を出し合い、
想いを語り、地域住民や団体と連携し、
自分達の地域をより良くするために、
活動する団体です。

応募用紙は裏面です □□

岩井・平群地区社会福祉協議会(伊丹幸司岩井地区会長〔会員数24名〕・若林真由美平群地区会長〔会員数25名〕)

構成は民生委員とボランティアで組織され、一人暮らし老人の交流会や会食会を通して、助け合い・支え合いの精神のもとに、支援活動を実施しています。急速な高齢化や経済不況の中で、きめ細かな行政サービスを支える地区社協の役割は、ますます重要になってきています。地域福祉活動の推進役として、「福祉コミュニティ」の実現を目指します。



写真：昨年12月3日に富山公民館で行なわれた、第1回岩井地区地域福祉フォーラム。150名もの大勢の方が参加して、地域福祉への関心の高さがうかがわれました。「お互いに助け合い、安心して暮らせる地域社会を目指して」をテーマに、午前は「腰痛予防の基礎知識の講話」。午後からはひとり暮らしのお年寄り「いきいきサロン」での余興など、楽しいひと時をすごしたようでした。

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動をしています。今月は、岩井・平群地区社会福祉協議会をご紹介します。

「存在は活動、活動は存在」

わがふるさと富山⑦

富山三山(富山・伊予ヶ岳・御殿山)で一番高い山、御殿山。三六三・九メートルを有し、その名の起こりは、「往古、日本武尊(やまとたけるのみこと)が東征し、安房の国を平定したとき、四方を一望できるこの山の山頂に御殿を造った」という伝説からといわれています。又この山は、山田区の南側にあり、富山地区と丸山地区にまたがっていて、大奥深い山です。北側にあるゴルフ場から御殿山を望むと、まるでおっぱいのような形をしていて、地元では通称、おっぱい山と呼んで親しまれています。



ゴルフ場から望むとおっぱいのような形に見える御殿山。

御殿山

(ご主人と富山参照)

読者の投稿コーナー

房日の短歌の選者をされている、山田にお住まいの戸倉さんからの投稿で、昭和28年頃、戸倉さんが作詞された平群甚句を紹介します



昨年12月17日、山田の高照寺で、戸倉さんから平群甚句を教わってもらう平群小学校4年生。戸倉さんの歌声を記録して節を覚え、今後、校内発表会を開いて、児童や地域の皆さんに知っていただこうと、練習に励んでいます。うまくいくといいですね。

♪ハアーさよい富山伊予ヶ岳へ...
昭和二十八年頃、私が作った詩に曲をつけていたところ、平群診療所の石井親一院長先生に相談したところ、院長先生が同じ診療所の松澤先生にそのことを伝え、松澤先生が知人の淡野高正さんに作曲を依頼し、平群甚句が誕生しました。

我が家のペット、プーちゃん(ブタ)を紹介。
平久里下在住 原 博夫さん



(ご主人との散歩が一番の楽しみのプーちゃん)

我が家自慢のペットは、ブタのプーちゃんです。プーちゃんは、6年前に近くにある別荘の持ち主から譲り受けたブタで、大きくして食べてくださいと言われていただきました。もらった当時は20センチくらいで可愛かったのですが、牛のえさをやっていたら体重約80キロと、こんなに大きくなってしまいました。

◆伏姫と八房のたわ言◆

今年に入り、大雪のため福島で大型車がスリップして道をふさぎ、何十台もの車が立ち往生したニュースが流れました。その後も、日本海側で同じような事故がおきたり、屋根の雪下ろしでの事故など、大雪による事故が多く報じられています。暖かい南房総では、立春を過ぎてこれから三月初旬までが一番寒い時期で、雪が積もるのもこの時期が多いように思われます。また二月に入ると、天気の良い日には杉花粉も飛散し始め、花粉症の人には辛い時期が訪れます。
♪春よこい、早くこい♪
春本番の訪れが、待ち遠しい今日この頃です。

三橋地域への支援員